

今年、流山小学校の創立 150 周年を記念して「流山小学校にあるもの」という歌ができあがりました。

きょうは、全校の皆さんが流山小学校のことを詩や作文に書いてくれた言葉や思いを受け取って、詞を書いてくださった桑原永江さんと、曲をつけてくださった石毛里佳さん、そしてお二人が所属している音楽事務所の八巻武さんにおいでいただきましたので、ご紹介をさせていただきます。

まず、作詞をしてくださった桑原永江さんをご紹介します。桑原さんは、NHK全国音楽コンクールの合唱の課題曲をはじめ、6年生が卒業式で歌う「最後の一步 最初の一步」など数々の合唱曲を作られています。

また、桑原さんが作った歌は、小学校や中学校で使う音楽の教科書にも載っていて、2年生は、教科書に「どらやきバウンド」という曲と桑原永江さんのお名前を見つけることができますので、ぜひ探してみてください。3学期に授業で歌うそうです。

他にも、「おかあさんといっしょ」や「みんなのうた」にたくさん曲を提供していらっしゃいます。「すすめ！すってんすつく！」は絵本にもなっています。J ポップや戦隊もの、アニメの主題歌など色々なジャンルで作詞家として活躍されています。

このたびは、流山小学校の全学年 1000 人もの作品を一つ一つ読んで下さり、流山小学校にふさわしい歌詞を一生懸命考えて下さいました。のちほど、桑原さんからお話をいただきますので、楽しみにしてくださいね。

次に、「流山小学校にあるもの」の曲を作って下さった石毛里佳さんをご紹介します。

石毛里佳さんは、千葉県のご出身で、東京芸術大学で音楽を勉強され、特に吹奏楽曲やアンサンブル曲を多数作曲、編曲されています。石毛さんが作った曲は、全日本吹奏楽コンクールの自由曲としてもよくとりあげられています。また、桑原さんと同様に、NHK みんなのうたやおかあさんといっしょなどに歌唱曲も提供していて、中でも「かたっぽちゃんとかたっぽちゃん」は石毛さんと桑原さんのコンビで作られた人気の曲です。みなさんの中にも知っている人がいることでしょう。

このたびは、流山小学校の子ども達のやさしさ、温かさにぴったりな作曲家さんということでご協力をいただくことになりました。皆さんは、最近毎日聞いている、石毛里佳さんのやわらかい、明るい歌声からイメージを広げている所だと思います。

このあと、「流山小学校にあるもの」を歌う時間がありますので、マスク越しではありますが、石毛さんといっしょに心をこめて、そして元気に歌いましょう。

最後に、お二人が所属している音楽事務所エム・スタイルの八巻武さんを紹介します。作詞・作曲されてできあがった曲を世の中に出すために色々な手続きがあるのですが、そういう音楽に関するお仕事をされています。桑原さんや石毛さんのスケジュールの調整や連絡などにも大変ご協力をいただいています。ありがとうございます。

では、お客様からのお話をお聞きしたいと思います。よろしくお願いたします。